令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について（ＫＳ２７）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和６０年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で１８回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和８年１０月１９日（月）から１０月２９日（木）までの間（本実施期間の前後 約１週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦

空挺作戦

海上作戦

統合防空ミサイル防衛

共同統合対艦戦闘

その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
  重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）の
北海道内における訓練について

本演習において北海道内で実施する訓練は、

① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊／高射部隊の機動展開訓練）
② 統合電磁波作戦訓練
③ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
④ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧）

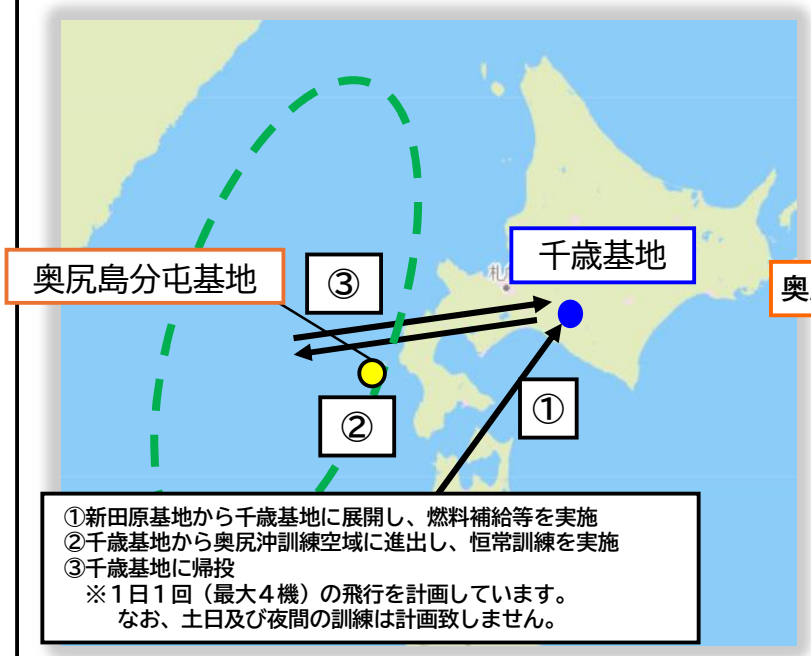
を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

北海道内で実施を検討している訓練内容
①　統合防空ミサイル防衛（戦闘機等の機動展開訓練）

航空自衛隊の戦闘機部隊等が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、千歳基地及び奥尻島分屯基地への展開を計画しています。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）※前後約１週間程度の準備・撤収期間を設定
【参加部隊】航空自衛隊：西部航空方面隊　第５航空団、北部航空方面隊 北部高射群 第２４高射隊
【千歳基地】人員約３５名、Ｆ－１５戦闘機×４機（最大）
　　大型テント×１、可搬型燃料タンク、可搬型給油装置、可搬型気象観測装置等
【奥尻島分屯基地】人員約６０名、車両約２５両
※　訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機（Ｃ－１３０Ｈ又はＣ－２）の飛行を計画する可能性があります。

訓練イメージ



①新田原基地から千歳基地に展開し、燃料補給等を実施
②千歳基地から奥尻沖訓練空域に進出し、恒常訓練を実施
③千歳基地に帰投
※1日1回（最大4機）の飛行を計画しています。
なお、土日及び夜間の訓練は計画致しません。

※　訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

千歳基地

Ｆ－１５戦闘機
（新田原基地所属）

C-130H又はC-2輸送機

奥尻島分屯基地

レーダー装置

ＰＡＣ－３発射機

電源車両

通信車両

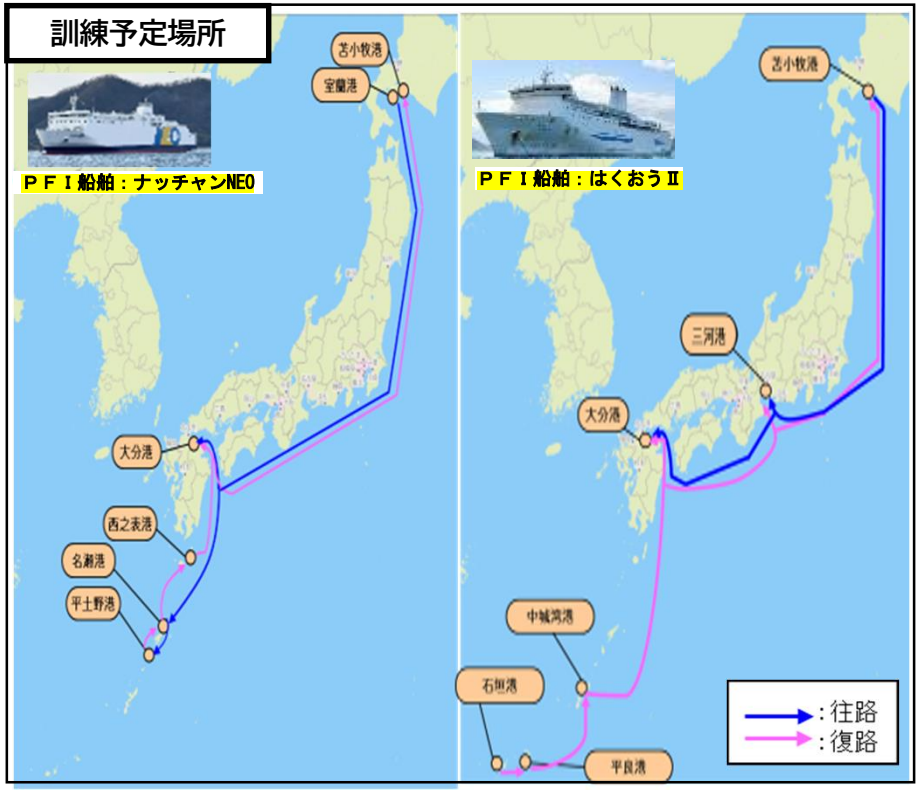
アンテナ車両

北海道内で実施を検討している訓練内容
③　統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

ＰＦＩ船舶等で北海道から沖縄県まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

【期　　間】令和８年１０月５日（月）～１１月６日（金）ナッチャンＮＥＯ
　　令和８年１０月３日（土）～１１月１０日（火）はくおうⅡ
【参加部隊】陸上自衛隊：第２師団、第５旅団、北方航空隊、システム通信団、東北システム通信団、第２、３地対艦ミサイル連隊、中部方面システム通信団
　　航空自衛隊：基地防空教導隊、北部航空施設隊
【使用装備品】輸送品：部隊車両、部隊人員
　　その他：ＰＦＩ船舶（ナッチャンＮＥＯ、はくおうⅡ）
【実施地域】苫小牧港、室蘭港（その他、愛知県、大分県、鹿児島県、沖縄県の各港湾を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ

ＰＡＣ３発射機（ＬＳ）

レーダー装置（ＲＳ）

８８式地対艦誘導弾

基地防空用地対空誘導弾

【PFI船舶：ナッチャンNEO】
　１０月５日（月）室蘭港で、訓練部隊の陸自、空自部隊が乗船し出港、日本各地へ部隊輸送を実施したのち、訓練終了後の部隊を復路で乗船させ、１１月６日（金）苫小牧港で部隊を下船させます。

【PFI船舶：はくおうⅡ】
　１０月３日（土）苫小牧港で、訓練部隊の陸自、空自部隊が乗船し出港、日本各地へ部隊輸送を実施したのち、訓練終了後の部隊を復路で乗船させ、１１月１０日（火）苫小牧港で部隊を下船させます。

北海道内で実施を検討している訓練内容
④　重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

陸・空自衛隊の部隊が千歳基地において、滑走路（被害）復旧訓練を実施します。なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期　　間】令和８年１０月２２日（木）～１０月２７日（火）※前後約１週間程度の準備・撤収期間を設定
【参加部隊】陸上自衛隊：第３施設団　約３０名
　　航空自衛隊：北部航空施設隊 約１０名、第２航空団　約３０名

訓練予定場所

訓練イメージ